

サトイモ科 アオウキクサ属

アオウキクサ (青浮草)

Lemna aoukikusa Beppu et Murata

自生環境

水田、池や沼 など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

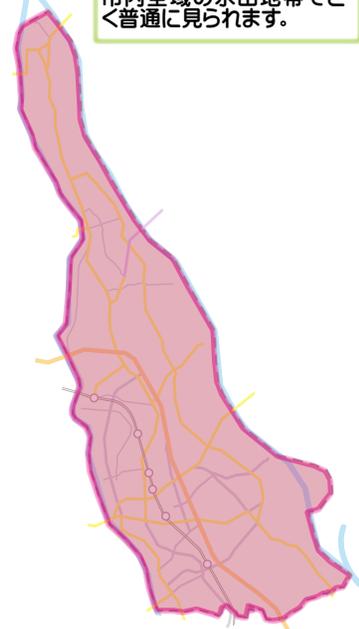
とても丈夫で数も多く、今のところ心配はありません。ただ、水辺環境の変化が思いがけない急減につながる可能性もあるので、長期的な個体数の増減には留意が必要です。

特徴

- ☆ 水田や水路、池などの比較的水深が浅くて、流れがほとんどないような場所に多く見られます。日本固有種ですが、ウキクサの仲間ではもっとも普通に見られる種類です。
- ☆ 楕円形の葉のような体（葉状体）をしていて、水面に浮かびながら生活しています。新しい葉状体を次々につくりながら増えていき、短期間で水面を覆いつくしてしまうほどの繁殖力を持っています。1枚の葉状体に根は1本です。
- ☆ 本種は1年草で、夏に開花・結実してタネをつくったあと、稲刈りのころには枯れてしまいます。タネの状態ですべてを越し、翌年、水田に水が入ると発芽します。花には雄花と雌花があり、雄花は雄しべ2個、雌花は雌しべ1個です。

市内の分布状況

市内全域の水田地帯でごく普通に見られます。



水面を漂う植物

水辺に生える植物の生活スタイルにはいくつかのパターンが存在します。アオウキクサのように土の中に根を張らず、体全部が水面を漂うスタイルの植物を浮遊植物と言います。

スイレンやアサガ、ヒシなども、水面に葉を浮かべますが、こちらはアオウキクサとはちがひ、水底の土の中にしっかりと根を下ろしています。このような植物を浮葉植物と言います。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

